

第7章 概算事業費の算定

I 概算事業費・ランニングコスト

建替にあたっての概算事業費と、新斎場におけるランニングコストは、近年の他自治体事例や民間事業者へのヒアリングなどを踏まえて、本計画検討時点において以下の金額を見込んでいます。この金額は、今後の物価変動等、社会情勢の変化を鑑み、必要に応じて見直す方針です。

なお、概算事業費の設定にあたっては、第5章で検討したローリングパターンのうち、最も評価点が高い“パターン3 仮設待合棟建設案”を基に算定した金額を採用しています。

<概算整備費（税込）>

項目		事業費(千円)	
整備費	新斎場	設計費	191,180
		工事監理費	49,390
		建設費	3,110,382
		火葬炉設備費	847,000
		システム構築費	27,500
		外構費	294,885
		什器・備品整備費	81,140
	仮設待合棟	113,883	
	仮設駐車場	201,234	
	既存撤去	258,555	
合計		5,175,149	

<概算ランニングコスト（税込）>

項目		事業費(千円)
維持管理費(年間)	施設	50,403
	火葬炉	60,257
運営費(年間)		101,915
合計（年間）		212,575

II 財源について

現状では斎場整備に関する国等の補助制度はありません。建替にあたっての主な財源は火葬炉使用料収入及び関係市からの分担金となります。

財政負担の平準化等を含め、関係市の財政に与える影響をできる限り抑えることができるよう次章において、民間活力を導入した事業手法の検討を行います。